

第8回 祥明大 学校・熊本県立大学学術 フォーラムの報告

崔 文姫

2015年6月27日、熊本県立大学中ホールにおいて、第8回祥明大 学校・熊本県立大学学術フォーラム「人文学とパフォーマンス」を開催しました。

本学のレイヴィン教授が総合司会を務め、古賀実学長の挨拶に引き続き、4つの講演が行われました。中世藝能と連歌（本学鈴木教授）、演劇が市民生活に与えている影響とその背景（祥明大 学校柳助教授）、現代アメリカのパフォーマンス・アート（本学坂井准教授）、韓国における演劇の現状（祥明大 学校全助教授）というパフォーマンスに関する幅広い内容の講演でした。講演の後、本学五島慶一准教授の司会進行によるパネルディスカッションが行われ、フォーラム聴講者がその場で記入した質問用紙の内容にパネリストが回答するという形式で進められました。「韓国の演劇には儒教が影響を与えたのか？」など熱心な質問が寄せられ、両国の研究者による熱い議論が繰り広げられました。最後に、砂野幸稔文学部長の挨拶でフォーラムは閉幕しました。

当日のプログラムは以下のとおりでした。

【開式の辞】

古賀 実（熊本県立大学学長）

【講演】

1. 「中世藝能と連歌」

鈴木 元（熊本県立大学文学部教授）

2. 「演劇と市民文化教室」

柳 根恵 Ryu Keun Hye（祥明大 学校芸術大学助教授）

3. 「ポルノグラフィック・アートは可能か？」

ー現代アメリカパフォーマンス・アートにおける〈身体〉呈示の仕方

坂井 隆（熊本県立大学文学部准教授）

4. 「芸術と責任ーイ・ユンテク演出の〈原典遺書〉を中心にー」

全 貞玉 Jun Jung Ok（祥明大 学校教養大学助教授）

【パネルディスカッション】

・パネリスト

鈴木 元（熊本県立大学文学部教授）、坂井 隆（熊本県立大学文学部准教授）
柳 根恵（祥明大 schools 芸術大学助教授）、全 貞玉（祥明大 schools 教養大学助教授）

・司会

五島 慶一（熊本県立大学文学部准教授）

【閉式の辞】

砂野 幸稔（熊本県立大学文学部長）



当日は、あいにくの雨にも関わらず、学生、一般の方など合わせて約200人の方々が来場し、研究者たちによる講演に熱心に耳を傾けていました。フォーラム終了後のアンケートからも好評であることがわかりましたが、盛会のうちにフォーラムを終えることができました。

以下は、フォーラム当日に来場者を含む参加者に会場で配布した資料です。祥明大 schools からの講演者の原稿は韓国語であったため、日本語に訳したものを共に掲載してあります。